

児童教育学科 デイプロマ・ポリシー (DP)、カリキュラム・ポリシー (CP)及びアセスメント・ポリシー

DP		CP 編成方針	アセスメント・ポリシー		
第一層	A	幅広い教養と専門的知識・技能を身に付けている。	卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各		
	B	学びと研究の質を高めることができる思考力・判断力・表現力等を幅広く身に付けている。	卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各		
	C	地域社会及び国内外の諸課題の解決に主体的・創造的に参画・貢献することができる。	卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各		
	D	自己の成長と社会の発展のために、自律的に学び続ける態度を身に付けている。	卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各 卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各		
第二層 (共通科目)			学修成果を測定する方法		
	A-1	幅広い学問領域の基本的な概念や理論を修得し、教養としての知識・技能を身に付けることで、社会現象を多面的に理解することができる。	主に人文科学、社会科学および自然科学の各分野を中心とした、学問の基本的な概念や理論を修得するための科目を、選択必修として1年次から配置する。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「知識・技能」の学修成果を測定する。	主要科目 教養科目
	B-1	学びや研究の基盤となる思考力・判断力・表現力を獲得し、幅広い領域に活用することができる。	リテラシー領域を設け、学びと研究の基盤となる思考力・判断力・表現力を修得するための科目を、必修および選択必修として1年次および2年次を中心に配置する。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「思考力・判断力・表現力等」の学修成果を測定するとともに、外部検定試験や外部アセスメントテストの結果も活用する。	外国語 データリテラシー スタディスキル ヘルシオリテラシー
	C-1	修得した資質・能力を主体的に活用し、多様な人々と協働しながら実際の課題に取り組み、創造的に課題解決に向かうことができる。	実習、演習、インターンシップ、ボランティアなどを中心とした、創造的に思考する力や他者と協働する力を修得するための基礎から発展への科目を、1年次から段階的に配置する。	各科目におけるグループワークや研究発表、実演等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「総合的な学修経験・創造性」の学修成果を測定する。	ライフデザイン応用
D-1	社会的課題やそれに対する学習・研究を通して、我々の生き方の指針を深く考え、自律的に真理を探究し続けることができる。	ライフデザイン領域を設け、生き方の指針および学び続ける態度を修得するための科目を、必修および選択必修として1年次および2年次を中心に配置する。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト、研究発表等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「態度・志向性」の学修成果を測定する。	キリスト教 ライフデザイン基礎 西南学院史	
第三層 (専攻科目)			A	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「知識・技能」の学修成果を測定するとともに、外部検定試験の結果についても活用する。	
	A-2	保育学・教育学及び関連する分野の基本的な概念や理論を修得し、知識と技能を身に付けることで、社会現象を専門的見地から理解することができる。	「保育・福祉に関する科目」や「教育・心理に関する科目」等を中心に、保育・教育分野の基本的知識及び技能を修得するための科目を1年次より系統的・段階的に配置し、また現実場面で実践できる能力を身に付けるための科目を2年次より系統的・段階的に配置する。	保育・教育分野の基本的知識及び技能を修得する科目において、各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって得られた到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「知識・技能」の学修成果を測定する。	保育原理 教育の理念と歴史 教育の制度と経営 発達と学習の心理学
	B-2	保育・教育の対象としての幼児・児童の理解、内容・方法の活用に関する理解、及び関わる人々の共同体の一員としての相互理解の下、適切に判断し行動することができる。	「保育・福祉に関する科目」や「教育・心理に関する科目」及び「教科研究に関する科目」等を中心に、幼児・児童の育ちと学びに係る実践的な支援に必要な応用的能力とともに広汎なコミュニケーション能力等を身に付けるための科目を2年次より系統的・段階的に配置する。	保育・教育の対象理解および、保育・教育の内容・方法の活用に関する科目において、レポート、発表、模擬授業、定期テスト等によって得られた到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「対象・内容・方法」の学修成果を測定する。	保育内容総論 教育の課程と方法 (情報通信技術の活用を含む)
	C-2	修得した資質・能力を活用し、社会実践に主体的に参画して、多様な人々と協働しながら任務を遂行することができる。	「保育実習」「教育実習」「教職実践演習」「演習・卒業論文に関する科目」等を中心に、保育・教育に関する現象の中から解決すべき課題を自ら発見し、そのための道筋を構想することができる能力を身に付けるための科目や実践力を身に付けるための科目を3、4年次を中心に配置する。	修得した資質、能力を活用し、保育・教育に関する現象の中から解決すべき課題を自ら発見し、そのための道筋を構想することができる能力を身に付けるための科目や実践力を身に付けるための科目において、レポート、発表、定期テスト等によって得られた到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「活用・実践力」の学修成果を測定する。	相談援助・保育相談 支援 教育方法論 教育相談
D-2	保育・教育の分野を中心に、学問や社会の基本原則や真理について、自律的に探究することができる。	「演習・卒業論文に関する科目」及び専門科目の選択科目等を中心に、自律的な修学意欲や興味に応じて学びを深めるための科目や保育・教育分野の学問的意義や職業的使命感・倫理観・責任感を継続的に考究するための科目を3,4年次を中心に配置する。	各科目におけるレポートや研究発表等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「態度・志向性」の学修成果を測定する。	演習Ⅰ 演習Ⅱ 保育実践演習 教職実践演習 卒業論文	